

1 ねらい

・教育活動、その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき教育活動・学校運営の改善を図る。

2 アンケート実施期間 平成26年12月

3 対象者 生徒1051名、全保護者965名（家庭数）、全教員51名

4 回答率（%）

	生徒	保護者	教員
回答数	987名	858名	51名
回答率	93.9%	88.9%	100%

※生徒1名について、1枚の評価をいただいた方もおります。

5 アンケート結果と考察

「そう思う、だいたいそう思う」と答えた生徒・保護者についての割合でグラフを作成。

【 生徒 】

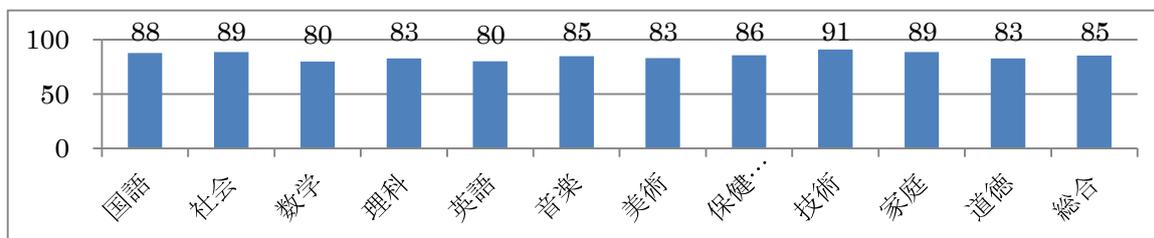
（1）生徒の各教科への取り組みについて

「興味・関心を持って取り組む」と「理解できる」という項目を別にして全校生徒に質問をした。

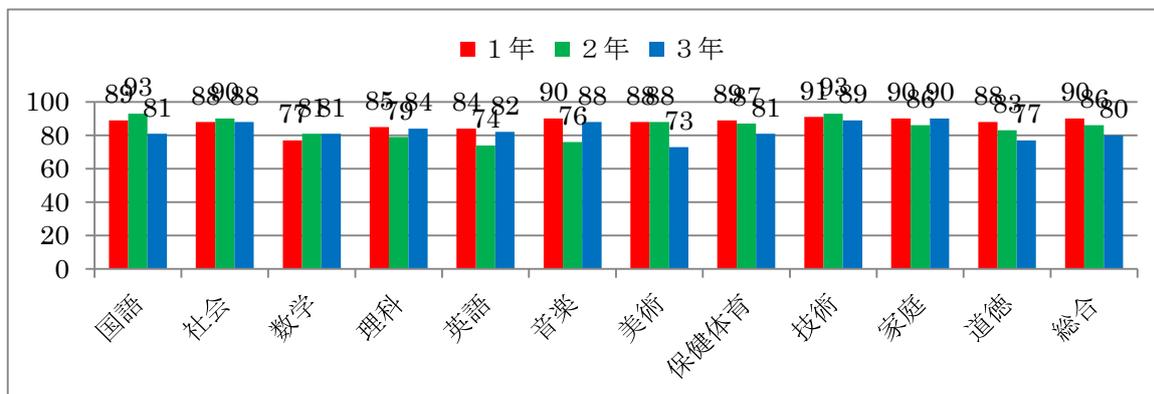
質問：興味・関心を持って取り組む。

<全校生徒>

昨年度（25年度）に比べ数学が2ポイントダウン以外は、どの教科も1～3ポイントよくなっている。

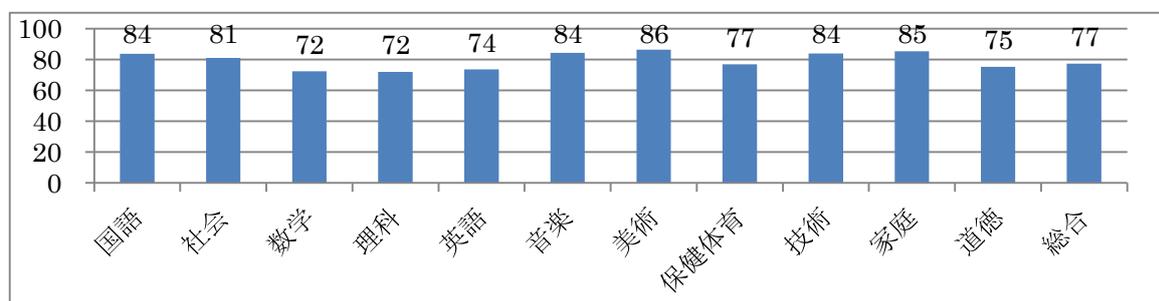


<学年別取り組み状況>

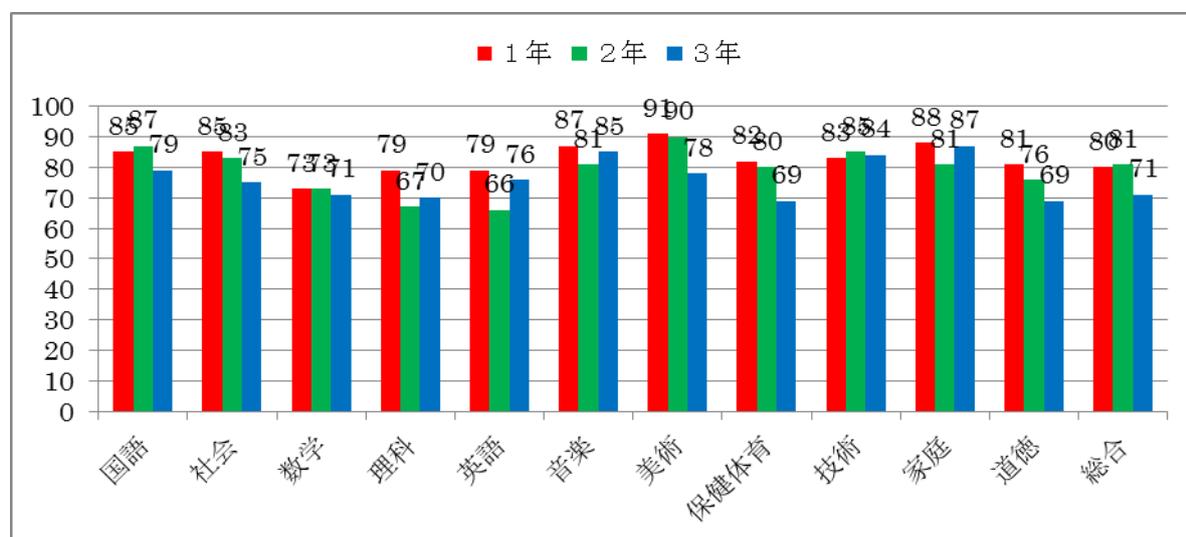


質問：理解できる。(納得のいく作品をつくる など)

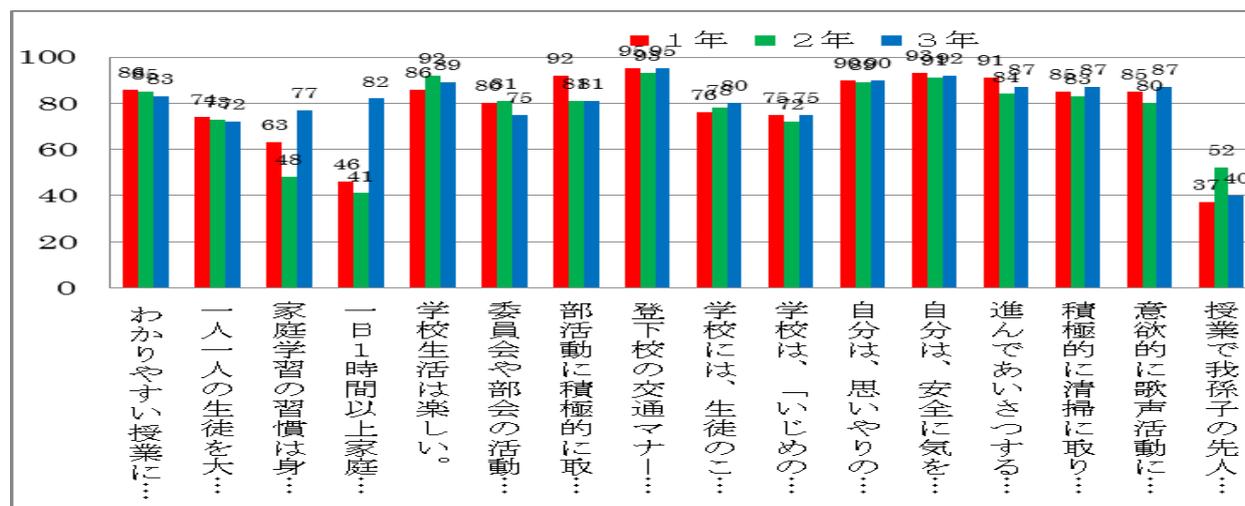
数学が3ポイント昨年比で下がったが、それ以外の教科は数ポイント上昇した。特に昨年67ポイントだった理科は72ポイントにアップしているが、理科、数学の授業の見直しが必要であるとする。



学年別に理解度を見る。



(2) 生徒の家庭学習・学校生活などについて



生徒の学習について

- ・「わかりやすい授業」「一人一人を大切にした授業」は2ポイント昨年度に比べアップしている。
- ・生徒の学習習慣は昨年と同じ62ポイントと56ポイントであり課題として残っている。

生徒の学校生活について

- ・学校生活はどの学年も昨年同様に85%以上の生徒が楽しいと感じている。
- ・我孫子中の3大伝統「挨拶」・「清掃」・「歌声活動」、「委員会活動への積極的な取り組み」についても昨年と同様で80～85%前後であり更に自治的な活動に取り組み、自己有用感・所属感を高めながら生徒を成長させたい。
- ・「思いやりの心を大切にしている」生徒の割合が、平成25年度の88%から90%へと上がっている。

教師・学校の取り組み

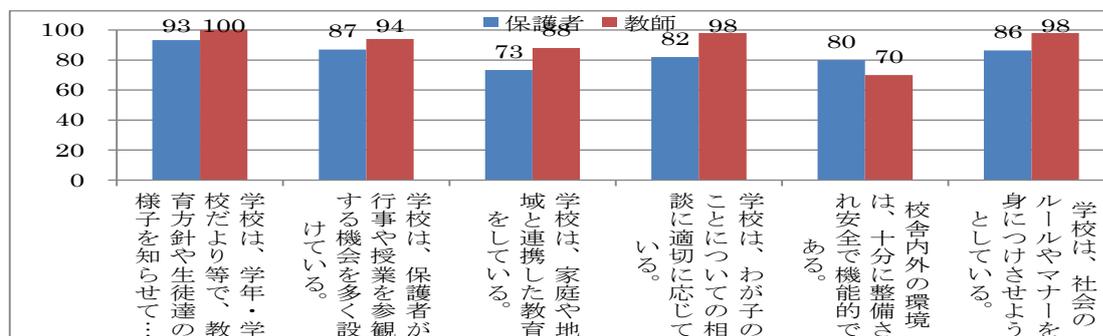
- ・「生徒のことを理解する教師」は、平成24年度70%、25年度76%、今年度78%と伸びている。日常の、教師の声掛け・相談活動の結果だけでなく、QU検査等を活用し生徒理解に力を注いできた成果が現れていると考える。
- ・「いじめのない学校づくり」は、平成25年度74%、今年度74%と横ばい状態である。いじめのない学校作りに向け学校全体で組織的な取り組みを強化していく。

【 保 護 者 】

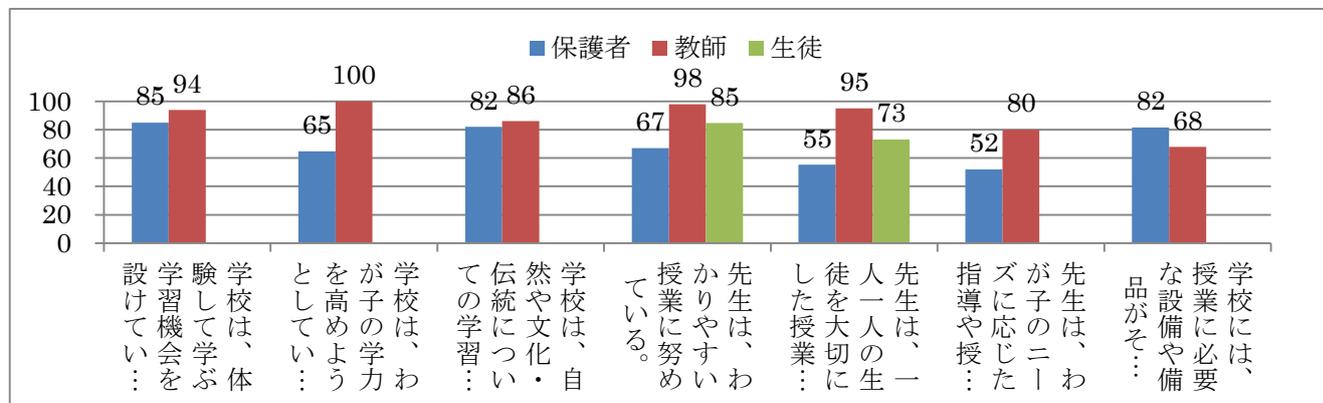
<教師と保護者と教師（と生徒）の回答を比較>

「わからない時は、空欄で」というお願いをしていたので、昨年度と単純に簡単に比較できないが、結果・変化について分析を試みた。

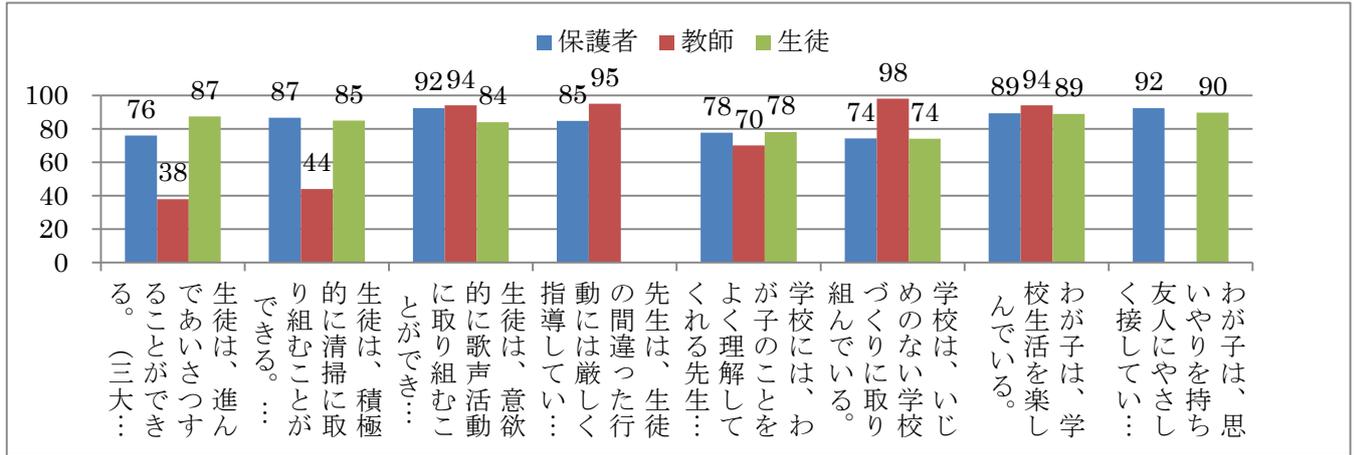
(1) 学校運営について



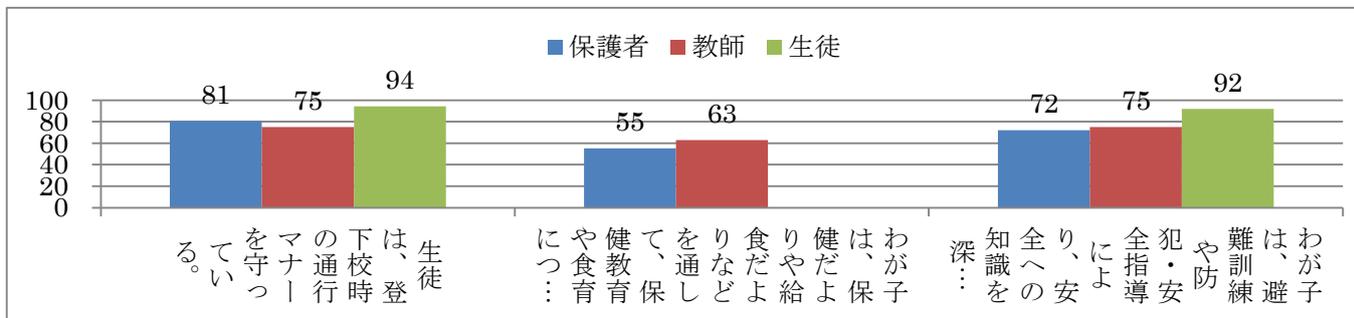
(2) 学習指導



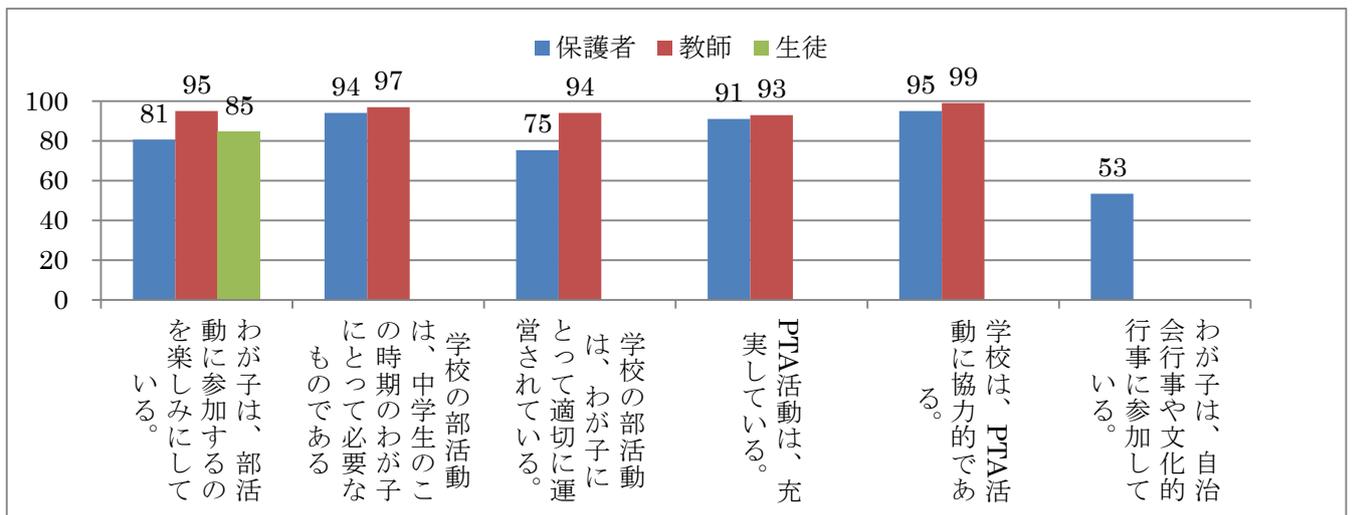
(3) 生徒指導について



(4) 健康・安全面について



(5) 部活動・PTA活動について



- ・「わかりやすい授業」など、教師の評価が保護者や生徒より高いところが多く見られるのは、学校の取り組みや成果が見えていないところもあるので機会を捉え学校便りやホームページ等で伝えていく努力も必要である。
- ・教師の評価が低い「挨拶」や「清掃」については学校をあげて取り組む必要がある。
- ・部活動指導については指導方法等を改善し大切な教育活動として更に充実したものとしたい。

<全体を通して>

① 生徒指導

- ・自転車の乗り方、登下校と安全指導を見直していく必要がある。年度当初の自転車講習だけでなく、定期的な指導やパトロール計画も計画的に行う。併せて、マナーの指導も道徳や学活だけでなく、家庭とも協力して行っていきたい。
- ・携帯やメール等の情報教育は関係機関とも協力して工夫しながら計画的に行っていきたい。
- ・挨拶については委員会活動を活性化し、生徒会とも連携し重点的に取り組んでいく。
- ・いじめについては、人間関係作りやコミュニケーション能力を育てる指導と併せて学校全体で重点項目として取り組む。また、生徒の声に耳を傾けるだけでなく、日常の観察も大切にし、職員の横の連絡も密に情報交換をしながら迅速な対応をしていく。

② 学習指導

- ・生徒一人一人の学力向上は重点項目のひとつとし、わかる授業、教師の指導力アップに向け、校内外の研修だけでなく、教科部会を活用して日常的に授業について研修ができる体制にする。
- ・補習や学習サポートについてもテスト前や放課後、今年度同様計画はしていくが、生徒が参加しやすいように呼びかけや時間の設定等、工夫をしていきたい。

③ 部活動指導

- ・成績偏重にならないように、体力向上や人間育成の大切な場面と捉えて取り組んでいく。学習や家庭生活とのバランスも考慮して計画的な活動にしていく。
- ・下校時の安全指導についても顧問が責任を持って徹底していく。
- ・部活動の計画、情報発信についても顧問が責任を持って行っていく。
- ・指導する際の言葉遣いや、指導方法についても、学校として研修を計画し、子どもたちにとって部活動が充実したものとなるようにしていく。

④ 教師の指導

- ・若手の職員が多くなってきた中、指導方法の研修だけでなく、教員である前に社会人としての言葉遣いや、マナー等も研修していく場面の必要性も感じている。

⑤ その他

- ・HPの更新や情報提供・発信については機会を捉え丁寧に行っていきたい。特にHPについては組織の中で明確化し対応していきたい。